

いずみ通信

IZUMI NEWSLETTER

2024年度 第4号 N082



名古屋市児童養護施設等就労支援事業
就労支援事業 サポートいずみ
名古屋市昭和区福江3丁目5番10号
自立援助ホーム慈泉寮内
TEL (052) 881-7583
FAX (052) 881-7746
E-mail sp.izumi2012@gmail.com
<https://syoutokukai.or.jp/izumi/>
発行責任者 平井誠敏 編集者 羽根 祥充

希望に向かって進もう

でも、困ったときは相談してね

高校卒業と就職・進学を祝う会

この春に高校を卒業する市内の社会的養護下で暮らす高校3年生の「高校卒業と就職・進学を祝う会」が、2月15日に駒方寮で開催されました。

この会は、毎月実施しているステップアップセミナーの締めくくりとしても行われます。今年度はセミナーに参加した児童も41名と昨年よりも多かったのですが、その内26名が参加しました。

来賓の方からのお祝いの言葉



この会の開催にご支援いただいているビジネス交流会「金シャチBNIチャプター」様から来賓として3名の方が出席され、代表して後藤 啓佑様からお祝いの言葉をいただきました。

「社会に出ると責任が増えてくる」「最初は窮屈に思うかもしれないが、自分の責任の中で自由が手に入る」「社会人は楽しい、ということ伝えたい」など、応援のお言葉をいただきました。

「金シャチBNIチャプター」様からは、アイスクリームやお菓子の差し入れ、一人一人にお祝いの品としてQ.U.Oカードをいただきました。

先輩からのお話

次に、施設を巣立ち、一人暮らしをしている先輩二人が、これからの生活の参考にしてもらうために、あらかじめ参加児童から出された質問にこたえる形で、自らの体験を踏まえて話してくれました。

一人目は、県外の大学を卒業した後、専門学校に1年通い、これから就職を考えている先輩が主に学生生活時代を振り返りながら話してくれました。

学生生活は楽しかったけれども、バイトを早くから始めないと貯金があっても、すぐになくなってしまいます。また、困ったときのために相談できる人がいるといいので自分から探すこと、施設の職員に相談するのがいい、など話してくれました。



もう一人は、施設を出て4年、最初は料理人、現在はタクシードライバーの先輩からの話でした。

収入を考えたうえで生活することの大切さ、後から払うことを考えてクレジットカードで買い物をしないと大変になること、税金を払わないと大変になること、もしものことに備えて少しでも貯金をすること、施設で得られた人間関係は社会に出てからも役に立つことなどを自らの体験も踏まえ、実感をこめて話をしてくれました。

(裏面へ続く)

卒業生の決意表明



その後高校3年生一人一人から、「進路について」「将来の夢について」決意表明をしてもらいました。

将来、教師、保育士、会計士などになりたい、法律知識を身につけたい、物事を正確に捉えられる力を身に付けたいなどという希望を持って進学する子や、清掃関係、工業系、サービス業の会社、公務員などに就職が内定している子がいました。また、大学生活や一人暮らしの中でこれからどんな仕事に就きたいかを考えていきたいという子もいました。一人一人が事前によく準備して、自分の言葉で語ってくれました。みんなしっかりと話すことができていたと思いました。



最後に一人一人にプレゼントが手渡されました。民間社会的養育施設長会からは、「印鑑のケース」と袱紗、サポートいずみからは、「印鑑」が贈られました。高校3年生の最後の思い出になる行事で、有意義なひと時になったと思います。



2024年度の活動を振り返って



今年度も活発に事業を展開することができました。

- 1 名古屋市、民間社会的養育施設長会と協力して開催しているなごやかステップアップセミナーは、予定通り9回開催しました。全体を通して多くの中高生が参加しました。
- 2 年間を通じ、**職業体験事業**を活発に行いました。夏休み期間中には、中高生46名（延べ53名）が、13事業所で体験しました。また、その他の期間についても13名（延べ14名）が7事業所で体験しました。
- 3 施設を巣立った後の新しい生活に役立つ学習のため、**生活の知恵本**の内容を今年度も改訂しました。毎年秋に改訂後、施設の高校卒業児童等に配布し、**出前勉強会**などで学習に役立てています。その後、サポートいずみに相談に訪れた若者にも渡して、生活に役立ててもらっています。高校3年生が単独で学習する教材としては分量が多いため、学習しやすい内容の検討の必要性を感じています。
- 4 食料品提供事業は、大学等へ進学後の2年間、夏・冬の年2回調理しやすい保存がきく食品を送っていますが、今年度は昨年から継続している2年生に対して提供しました。
- 5 巣立ち後、日本福祉大学に通う学生の交流会を実施しました。今後他の大学に通う学生との交流を検討する必要があります。
- 6 **盛和塾リスタート応援助成**による支援を1ケースに対して行いました。就労支援、新しい仕事に生活するまでの生活基盤を整えるための支援を中心に、対象者に寄り添って支援を行いました。支援のなかで生活課題も見えてきたので、助成による支援期間終了後も継続して支援しています。
- 7 ホームページにサポートいずみの活動を積極的に発信しました。

寮完備の企業の方や、様々な職種において子ども達をご理解頂ける雇用主を募集しています。

